

みんなで応援！県北の家庭教育！

発行所
福島県教育庁県北教育事務所
福島市杉妻町2番16号
電話 024-521-2814

家庭教育応援企業
にお勤めの皆様へ



家庭教育応援企業にお勤めの皆様には、日頃より本県の家庭教育の推進につきまして、御協力いただき厚く御礼申し上げます。

今年度最後の通信では、県北教育事務所の取組として「第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議」についてご紹介いたします。「家庭の教育は個々の家庭の責任」「他人には頼れない」「関係ない」ではなく、改めて家庭教育の大切さを社会全体で考え、支援していくことがこれからは大切だと感じました。来年度も御協力よろしくお願ひいたします。

第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議より

令和7年1月16日に第2回地域家庭教育推進県北ブロック会議が開催されました。第2回ブロック会議は、今年度の取組を振り返り、来年度の事業推進の方向性を明らかにするために行いました。協議では、今年度の取組の課題を踏まえ、下記のテーマで話し合いました。

家庭教育に関して関心の低い親や、 困難を抱える親への支援はどうしたらいいか

関心が低いわけではなく、家庭教育を教えてくれる人がいなくて分からないのでは？

困った時の相談窓口や、どんな支援があるかが分からない。本当に困っている人に情報が届いていない。

相談の相手が、どんな人かも分からない。相談に行くと親が責められそうで足を運びにくいのではないかと。

情報発信

研修会、相談窓口等の情報をSNSを活用して保護者に発信する

学びの場

働いている保護者も参加しやすい研修会にする

関係機関の連携 地域のつながり

職場の理解、働き方改革

相談の場

保護者どうしが気軽に情報共有できる場が必要

今年度、特に課題となったのは、保護者への情報発信です。各関係機関と連携し、支援を必要とする保護者に少しでも必要な情報が届くよう、今後も応援企業通信等で家庭教育に関する情報を発信していけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

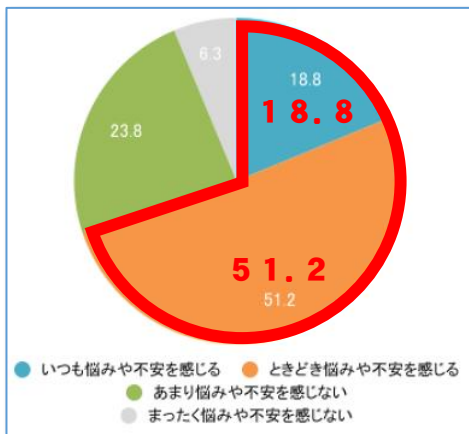
詳しくはこちらから！



悩みや不安を抱える子育て世代

子育てをしていると、多くの喜びを感じられる一方で、不安に襲われることもしばしばあるのではないのでしょうか。令和6年7月に実施された「家庭教育支援推進のための調査研究」によると、子育て中の保護者の70%が「いつも」または「ときどき」悩みや不安を感じていることが明らかになりました。子育て家庭が孤立しないよう、社会全体でサポートしていくことが大切です。

Q12 あなたは現在子育てをしていて、
悩みや不安をどの程度感じていますか。



特に、「0-2歳」「小学校1年-3年」「中学生」の子どもがいる家庭においては、8割近くが「いつも」または「ときどき」悩みや不安を感じているという結果だったよ。

詳しい調査結果を知りたい方は、文部科学省のホームページ、または右記二次元コードからご覧下さい。

Q13 ご自身の子育てや家庭教育に関する不安や悩みのある項目について、特にあてはまる項目を最大3つまで選んで順位をつけてください。(複数回答) ※Q12で「いつも」または「ときどき」悩みや不安を感じると選択した人を対象



福島県の子どもの幸福度

令和7年度より施行する新計画「福島県こどもまんなかプラン」の策定及び運用にあたっては、こども基本法の理念に基づき、「こども・若者の声を基に、こども・若者の幸福を高めていくこと」が重要な目標とされています。この目標を達成するため、こども・若者の幸福度に関する調査が行われました。

この調査（こどもまんなかアンケート）によると、子どもの幸福度は、小・中・高の平均値で7.44でした。

（10=とても幸せ～0=とても不幸）

また、子どもの幸福度に影響している要因の中でも影響が大きい要因は以下のとおりです。

Q あなたは今、どれくらい幸せだと感じていますか

小・中・高
平均値

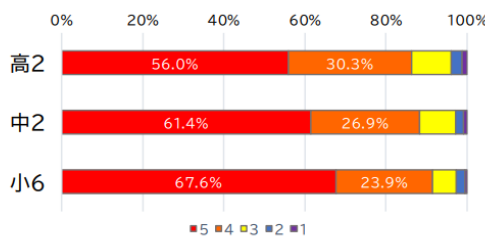
7.44

① 家族からの愛情(4.46)

家族からの愛情が子どもの幸福度に大きく影響していることが分かりました。家族と一緒に過ごす時間を大切にしたいですね！



23 家族から愛されており、家では居心地よく安心して過ごしている。



〈回答数〉 高2 = 5,068件
※無回答抜き
中2 = 4,361件
小6 = 4,461件

小・中・高 平均点		
4.46		
平均	幸福相関	
高2	4.37	0.442
中2	4.46	0.504
小6	4.56	0.519

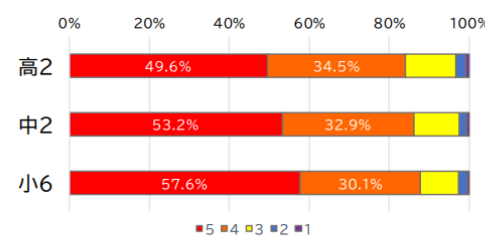
【幸福相関】の係数が0.4以上：(正の相関)
-0.4以下：(負の相関)

② 意思の尊重(4.36)

子どもが自分を受け入れられ、理解してもらっていると感じることで、安心感や幸福感が生まれることが分かりました。



27 家庭や学校などで何かを決めるとき、自分の意思や意見を聞いてもらえる・大事にあつかってくれる。



〈回答数〉 高2 = 5,066件
※無回答抜き
中2 = 4,360件
小6 = 4,448件

小・中・高 平均点		
4.36		
平均	幸福相関	
高2	4.29	0.412
中2	4.36	0.470
小6	4.42	0.465

【幸福相関】の係数が0.4以上：(正の相関)
-0.4以下：(負の相関)

「令和6年度こどもまんなかアンケート結果報告」より

◆調査対象者◆ 県内の小学6年生・中学2年生・高校2年生(全員)

◆調査期間◆ 令和6年8月26日～令和6年9月24日

詳しい調査結果を知りたい方は、右記二次元コードからご覧下さい。



家庭教育ってなんだろう・・・

家庭教育は、すべての教育の出発点。

家族のふれ合いを通して、子供が、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナーなどを身につけていく上で重要な役割を果たしています。

例えば、毎日の生活の一場面。皆さんのご家庭では、どのように過ごしていますか？

いつも家族で「おはよう」「ただいま」「おやすみ」などのあいさつを習慣にしている。

早寝早起きを心がけている。

朝ごはんは家族一緒に食べる。

学校での出来事などについて、子供とよく話をする。

テレビやゲームの時間などのルールを、親子で話し合っていて決めている・・・。

家庭は、子供たちが最も身近に接する社会。常に子供の心のよりどころとなるものです。

少し立ち止まって、日常の家庭での生活を振り返ってみませんか。

文部科学省 ホームページ「子供たちの未来をはぐくむ家庭教育」より



文部科学省のホームページに掲載されている家庭教育手帳です。保護者の方はぜひお読みいただき、子育てのヒントとしてみてください。



家庭教育応援企業
代表者の皆様へ

家庭教育応援企業の取組をお知らせください

家庭教育を充実させるためには、家庭や地域だけでなく地元企業の家庭教育への理解や積極的な参加がますます求められています。

そこで、各社の素晴らしい活動の様子をHPや企業通信等で広く紹介し、効果的な取組等を共有することで家庭教育の充実を目指していきたいと考えています。「職場の家庭教育推進」「生活習慣向上の取組」等、企業での工夫やアイデアも募集しています。ぜひ、活動報告書にてお知らせください。**報告いただいた企業の皆様、ありがとうございました！**

【県北の家庭教育応援企業／197社（R7.2現在）】

※ 企業名については県北教育事務所HPをご覧ください。
(二次元コードからも見ることができます)

